

2014 国際会計士連盟 (IFAC) 専務理事戦略フォーラム — Chief Executives' Strategic Forum —

2014年2月24日に、ニューヨークの国際会計士連盟 (IFAC) において、IFAC 加盟各団体 (約50団体が参加) の専務理事による戦略フォーラムが開催され、IFACを取り巻く課題に関連して活発な議論が行われた。

以下に主な内容を報告する。

1 G20に対するIFACからの提言について

まず、IFACよりG20に働きかけを行う際の参考とするため、G8、G20、アジア太平洋経済協力 (APEC) 等において米国ブッシュ政権への国際経済に関する助言役 (シェルパ) を務めたDan Price氏によるプレゼンテーションが行われた。会議の席上で活躍した経験から、G20のアジェンダ形成の舞台裏の動き、2014年にオーストラリアで開催されるG20サミットで注目が予想されるトピック、及び会計プロフェッションに求められる役割等について、以下の事項が説明され、参加者による活発な意見交換が行われた。

- 健全な、ただし必要以上の負担とならない規制の必要性について、

G20として意思表示が行われる

- 会計基準の統一化への動きは、一時の勢いを失い弱まりつつある
- 税への注目が高まり、課税回避についての会計専門家の責任が注視されている
- G20のような、対象を拡大した地域間の協力の枠組みが不可欠との認識は強い
- 自由な交易・投資が、成長と貧困の解消に不可欠との共通認識がある
- IFACは積極的な行動が必要で、国際的な団体としての働きかけは効果大きい

2 IFACの基準設定の役割

(1) IFACのガバナンス構造について

現在、IFAC理事会において、基準設定プロセスや規制当局による監視プロセスなど、現行の枠組みの全体像や相関関係を明確にし、文書化するためのプロジェクトが進められている。概ね現行のガバナンス構造は、以下の4つの組織によって成立している。

- IFAC

- 独立した基準設定審議会 (国際監査・保証基準審議会、国際会計士倫理基準審議会等)
- 公益監視委員会 (PIOB)
- モニタリング・グループ (規制当局の集まり)

席上、これらの組織の役割や責任がまとめられた現行の草案が参加者に配布され、ガバナンスをより強化する方法等について議論された。特に、以下の国際公会計基準審議会 (IPSASB) に焦点があてられた。

(2) IPSASBのガバナンス

IPSASBには、現在、モニタリング及び監視体制が十分に整備されておらず、長年その必要性について議論されている。これらの議論を受けて、2014年1月24日に、国際通貨基金 (IMF) と経済協力開発機構 (OECD) が共同議長を務めるIPSASB ガバナンス・レビュー・グループによって、IPSASBのガバナンスについてコンサルテーション・ペーパーが公表された。

このコンサルテーション・ペーパーでは、以下の4つのIPSASBのモニタリング・監視体制案が提示され、あるべき姿について意見を集約しよ

うとしている。

- A) IFRS財団のモニタリング・ボード（規制当局の集まり）や評議員会によるモニタリング及び監視
- B) IFACの下に残すが、切り離した組織によるモニタリング及び監視

C) IPSASBをIFACの外に出して、自身のモニタリング及び監視のための組織を設置

D) その他のアプローチ、上記のオプションの短期・長期アプローチによる組合せ等

本フォーラムでは、上記の提案や

その他のコンサルテーション・ペーパーの内容について、参加者による情報提供や議論が行われた。今後、さらに議論は継続される方向である。

（専務理事 海野 正）